

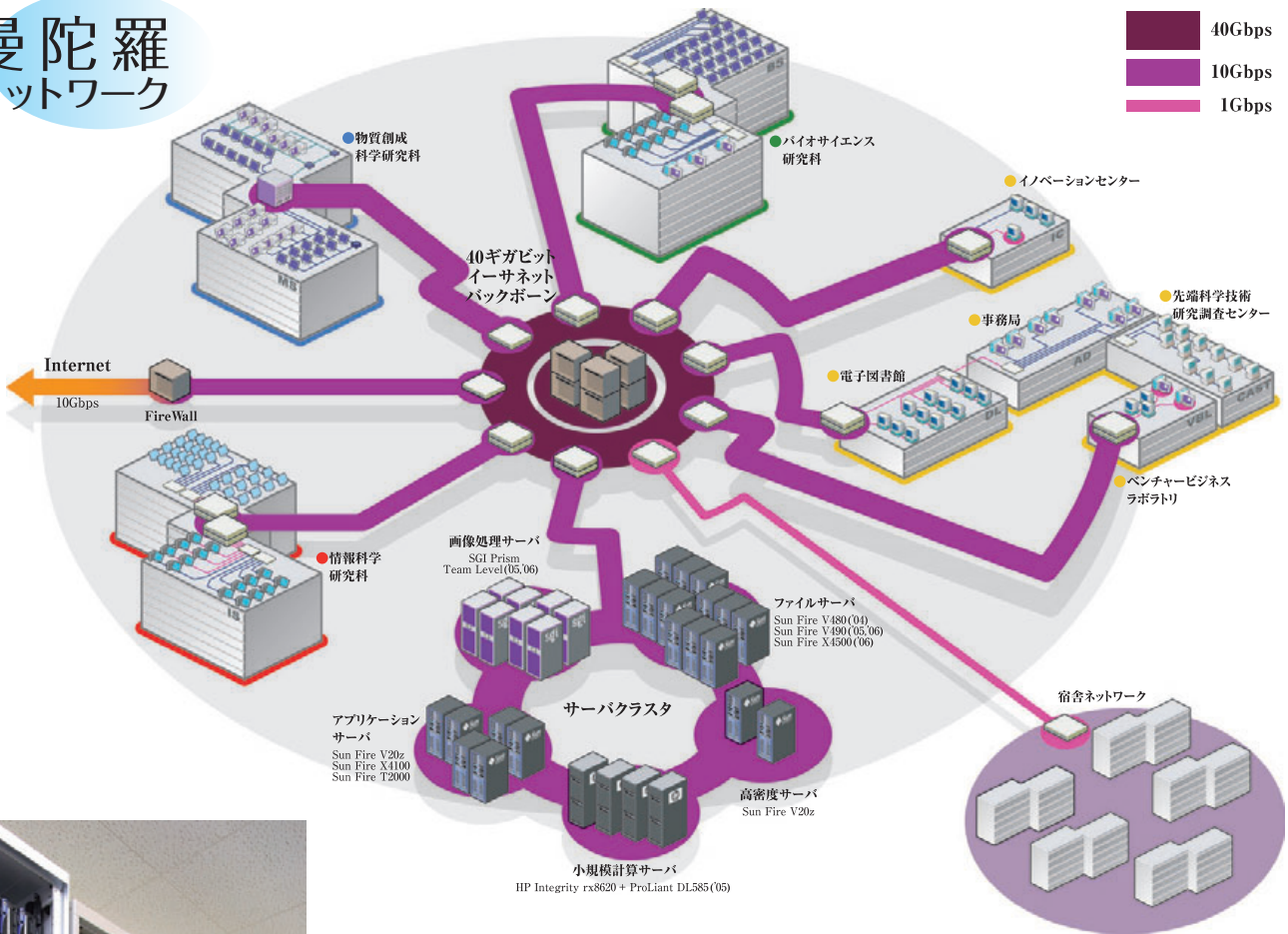
世界最速レベルへ

本学では、あらゆる分野において最先端の教育研究を支援するため、一元的に管理運営されるコンピュータネットワークのもと、「曼陀羅」システムと呼ばれる全学情報環境が整備されています。

最先端の研究を支援するためには、大容量のデータを瞬時に計算処理し、転送することが求められます。曼陀羅システムでは、総容量1ペタ(10の15乗=千兆)バイトにもおよぶ大容量記憶装置、ギガフロップスクラスの計算サーバ群、基幹伝送速度40ギガビット毎秒の超高速ネットワークが提供されています。また、曼陀羅システムを効率的に利用するために、学内利用者に対して一人1台のワークステーション・PCが提供されています。



曼陀羅ネットワーク



曼陀羅ネットワークとは

全学情報環境設備「曼陀羅システム」の基盤を支えるネットワーク。

さまざまな機能を持つシステムを集約した曼陀羅システムでは、システム間の相互の通信を円滑に行う必要があります。

さらに、資源の密接な共有や高品位マルチメディア通信、グリッドコンピューティングへの対応も必須です。

曼陀羅ネットワークでは、超高速キャンパスネットワークとして世界最速レベルの環境を実現すべく、開学時から常に整備を行っています。現在は幹線40ギガビット毎秒、支線10ギガビット毎秒以上の速度を提供しています。また、インターネットにも対外10ギガビット毎秒の高速専用回線で接続しており、国内外のさまざまなサイトと超高速通信が可能です。曼陀羅ネットワーク内には4,000を超える端末が稼働しています。

